

柔軟なコミュニケーション力の育成

～ 新聞記事の活用を通して ～

新潟市立横越小学校

1 学校の概要

新潟市立横越小学校（音田和行校長、児童数 554 名）は阿賀野川沿いの水と緑に囲まれた豊穡な大地が広がる地域に立地しており、周辺地域では水稻を基幹として多彩な農産物を供給する都市近郊型農業が営まれている。



教育目標は、「学ぼう 支え合おう やり抜こう」である。自ら学び、自ら考え、

積極的に行動する主体性、相手の立場で考えて行動する協働性、目標に向かってねばり強く努力するたくましさを育むことを目指している。学習面では、児童が安心して学びに取り組めるよう、教え合いや話合いを取り入れている。生活面では、児童が自己肯定感を高めることができるよう、様々な学習活動を、自己評価や他者評価で振り返る場を設定している。

また、生活科で地域の方とともに町探検や昔遊びを行ったり、総合的な学習の時間で地域の方から梨の収穫・トウモロコシの栽培・米作りを教わったり、仕事の苦勞ややりがいについて地域の方から話を聞いたりするなど、地域と協力して教育活動に取り組んでいる。

2 NIE実践のねらい

今年度の研究主題は、「柔軟なコミュニケーション力の育成～新聞記事の活用を通して～」である。

当校では、自分の思いを表現することが苦手な子どもが多く、お互いの思いをうまく伝えられず、友達とトラブルになっている姿が見られる。また、授業中に自信をもって自分の思いを表現したり、ペアやグループでお互いの考えを伝え合ったりする経験が少なく、話合いが滞る様子が見られる。

そこで、今年度は、NIE 実践研究委嘱校となっていることから、新聞を活用した実践を通して、子ども同士が関わる場面を設け、自らの思いを自信をもって表現し、伝え合う経験を積ませることで、柔軟なコミュニケーション力を育んでいきたい。

※「柔軟な」…TPO に応じ、自分の得意とする方法（言葉・絵・ジェスチャーなど）を用いた

3 本年度の取組の概要

（1）職員研修

令和 7 年 5 月 12 日（月）に新潟県 N I E アドバイザーである新潟市立両川小学校の中村康様を講師としてお招きし、N I E のねらいや具体的な授業実践についてご説明いただいた。

今まで授業で提示した「教える材料」が「教材」であるのに対し、グローバル化した現在は、教材を、みんなが考え、話し合うことができる「考え、話し合う材料」である「思考材」に加工する必要があるというお話をしていただき、具体的な新聞記事を用いて新聞を思考材化するポイントを教わった。

(2) 代表者による新聞を活用した公開授業

令和7年7月18日(金)に第4学年2組担任大倉寛史教諭による新聞を活用した公開授業を行った。全職員が参観し、新聞を活用した授業についてのイメージを共有した。この授業に際して、再び新潟県NIEアドバイザーである新潟市立両川小学校の中村康様を講師としてお招きし、ご指導をいただいた。扱った単元は、第4学年社会科「水はどこから」であった。教室の壁面に複数の新聞記事が掲示され、子どもはそれらを見ながら友達と活発に意見を交わした。また、新聞記事に書かれていることを根拠として自分の考えを発表する姿が見られた。

子どもたちは、意欲的に記事を読み、記事から求める言葉を探していた。大倉実践からは、学習した知識を社会に通用する知識へと高めるには、新聞記事が有効に働くことが分かった。学習内容を振り返るとき、学習内容に関連のある新聞記事を通して振り返らせることで、子どもたちは、学んだ知識を単純に再現するのではなく、新聞記事をきっかけに、生活経験や見学先での経験と学習内容とを結び付けて捉えていた。社会の中で生きて働く知識として認知していたようである。



(3) NIEタイム (毎週水曜日の朝の15分間、全校が新聞を使った活動を行った。)

①「新聞カード」の作成 (3～6年生が実施)

2025年8月26日の新潟日報の「ふむスタ通信」で紹介された新潟市立亀田小学校の実践に倣い、「ふむスタ」の「にいがたにつぼうニュース」を読み、興味をもった記事を1つ選び、タブレット端末のロイロノートで「新聞カード」を作成した。「新聞カード」には、記事から「いつ・どこで・だれが・何を・どうした」を読み取り、感想を入力した。作成後は、クラスの中でお互いのカードを見合ったり、選んだ記事について紹介し合ったりした。

新聞カード		9月10日 水曜日
記事の写真		記事に出てきた市区町村に印をつけよう
どんな記事だったかな		
いつ	9月8日	感想
どこで	上越市の高田城址公園	観運会有るなんてびっくりした。私も行ってみたいと思いました。去年は11万3千人が来場したことがすごいなと思いました。
だれが	新潟県の人	
何をしました	観運會に来て、きれいなハスの花を見て楽しんだ。	

この活動では、文章の要旨を把握する力や自分の感じたことや考えを表現する力や相手に分かりやすく説明する力を培うことができ、話を聞くときのよい態度を身に付ける機会にもなった。

最初は、どの新聞記事にも興味をもてない子どもや、新聞記事の数が多いため、一つ一つの新聞記事の文章を読むことに時間がかかり、新聞記事を選べない子どもが多かった。しかし、回数を重ねるごとに、新聞には様々なジャンルの情報が載っていることに気付いて、興味をもって読む子どもの姿が見られた。また、写真や見出しから大まかな情報を読み取り、新聞記事をいくつか絞って読むなど、興味のある記事を選んだりすることができるようになった。

読むことや書くことが苦手な子どもは、選んだ新聞記事から「いつ・どこで・だれが・何を・どうした」を読み取れず、それを自分の言葉でまとめることができなかった。特に、「いつ・どこで・だれが」は容易に読み取ることができるが、「何を・どうした」を自分の言葉でまとめられない子どもが多かった。そのような場合には、ペアや班で相談したり、友達のカードを見て参考にしたりした。このことにより、詳細な情報は除き、読み手が概要をイメージするために必要な言葉だけを残すなど、長い文を短くまとめるポイントを友達から学んでいく姿が見られた。

②新聞遊び（全学年が実施）

新潟県NIE推進協議会のホームページで紹介されている新聞遊びを行い、新聞を通して様々な人と関わり合いながら、新聞に親しんだり、論理的に思考したり、自分の考えを表現したりする力を培うことを目指した。

活動例1 新聞ジグソーパズル

班で協力して切り分けた新聞を見出しや図、写真、記事を囲む枠に着目しながら元に戻す活動である。児童は見出しの言葉が正しく繋がるように紙を選んだり、複数ある写真を見比べながら、紙の配置を考えたりしていた。どうやって並べたらよいかを考えてアイデアを班のメンバーに伝えたり、お互いが気付いたことを聞き合ったりして、自然と班の中で関わり合いが生まれ、協力して活動に取り組んだ。活動後に何に着目しながらもとに戻したかを子どもに問うことで、新聞の構成要素を挙げていた。新聞を読むことに慣れていない段階で、新聞の構成を学ぶよい機会となった。

子ども同士で関わり合いがうまくできていない班や、紙面の構成によって難易度が高くなっている班は、なかなか元通りにできなかった。そのようなときには、早く終わった班が元に戻すときのポイントを考え、時間がかかっている班にアドバイスをしたり、手伝ったりした。



活動例2 見出しビンゴ

いくつもある見出しの中から自分が気に入った見出しを選んでビンゴを行う活動である。これを通して、児童は見出しの語感のよさや様々な見出しの共通点に気付くことができた。短い見出しに読み手が興味をもつようなインパクトのある言葉を入れていることや、出来事が一目で分かるようになっていることなど、新聞の作り手の立場に立って、見出しに込めた工夫について考える姿が見られた。また、自分が選んでいない見出しを選んだ友達にそれを選んだ理由を聞くことで、その見出しのよさに気付いたり、人によって様々な感じ方があり、考え方も異なることに気付いたりした。

活動の中で見出しのよさに気付く子どもがいる一方で、いくつビンゴになるかということに執着してしまう子どももいた。そのような子どもにも見出しについて考える機会を促すために、活動の最後に教師が「これらの見出しの中で、一番印象深かった見出しはどれですか。また、それはなぜですか。」などと問うことが効果的であった。



(4) 新聞の設置

①新聞コーナーの設置

職員室前の廊下に一般紙4種類、子ども新聞2種類を置き、児童が自由に新聞を読める環境を整備した。司書教諭が作成したブックスタンド型の新聞スタンドを使い、常に新聞を開いて置いた。これにより、新聞を手にとって開くことをしなくても新聞が目に残り、読むことができるため、通りすがりに開いてあるページの記事を読む子どもの姿が見られた。

②一般紙に親しませる工夫

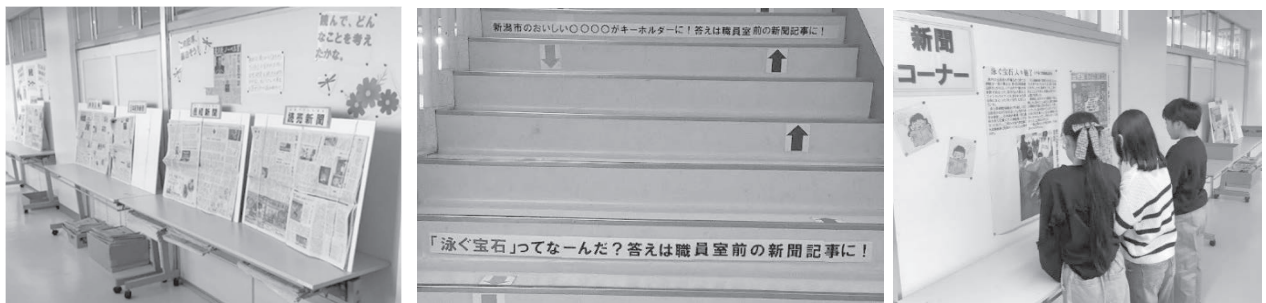
一般紙は読むことが難しく、児童が親しみにくいことから、職員のおすすめの記事にふりがなを振って貼り、その横に記事のおすすめのポイントや、児童に読み取ってほしいことを書いた吹き出しを貼った。新聞記事をすべて読むことは難しいが、写真を見たり、吹き出しの中の言葉を読んだりする姿が見られた。

③玄関前の掲示板の活用

玄関前の掲示板は、登校時や下校時に最も児童が目にする掲示板であることから、新聞記事を拡大コピーして掲示し、多くの児童が新聞記事に触れるようにした。印象的な写真を含む新聞記事を掲示することで、廊下を歩きながら新聞記事を見る姿が見られた。また、NIEタイムで5・6年生が掲示されている新聞記事の中から1つ選んで感想を書くという活動を行った。新聞記事を読むきっかけとなるように、児童が書いた感想も新聞記事の横に掲示した。

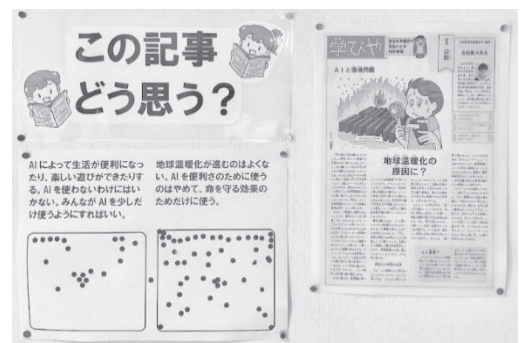
④階段の新聞記事のクイズ

職員室前の新聞記事の内容をもとにしたクイズを多くの児童が使う階段に貼った。クイズになっていることで、登校時や休み時間に階段を上りながら答えについて話したり、職員室前の新聞コーナーに行ってクイズの答え合わせをしたりする姿が見られた。



(5) 新聞記事の内容に関する投票（全学年が実施）

週に1回、各学年の掲示板に新聞記事を1枚掲示し、それについて2つの選択肢を設け、それぞれ当てはまる児童がシールを貼るという活動を行った。教師が新聞記事を読み上げ、難しい言葉の意味を解説したり、その記事の内容について、どのようなことを感じたかをクラス全体で共有したりした。投票の前後に、自然と友達とお互いの考えを伝え合う姿が見られ、同じ選択の場合には意気投合して話し、違う選択の場合

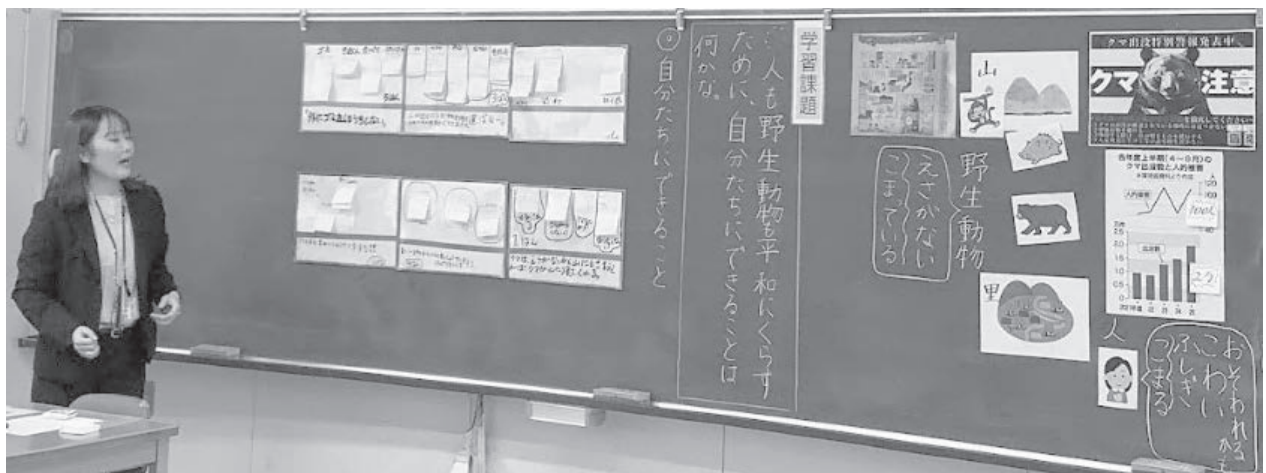




2025年9月3日 新潟日報社

④授業の実際

導入で新聞記事の折れ線グラフを提示したことで、児童の関心を高めることができ、また、一目で現状を把握していた。クマ出没特別警報のように、近頃よくニュースで取り上げられているものを取り上げたため、実際に見聞きしたことがある児童が多く、自分事として捉えて考えていた。学習課題を設定する際に、「平和」をキーワードにしたことで、その後、班活動で「平和」を重視して話合いを進める姿が見られた。漫画形式の新聞記事を配付したことで、3年生でも読みやすく、理解しやすかったため、記事に書かれていることをもとに考えることができた。一方、班の話合いで意見をまとめる際に、班のメンバーで一番大切だと思うものを決めるように指示を出したが1つに絞る必要性があったのか、疑問が残った。自分が考えた意見以外についても広く知ることをねらうのであれば、班の中でお互いの意見を発表し合い、自分の意見と比べながら聞くという交流にするとよかった。



④授業の実際

導入で、新聞記事の中の伏せた見出しや資料を答えさせるクイズを行ったことで、子どもたちが意欲的に取り組むことができた。見出しや資料の候補がいくつか用意されていたことで、子どもたちは文章の中で記者が最も伝えたいことに着目して、どれが適切であるかを深く考えていた。授業者が小刻みにペアで相談する時間を設けたことで、子どもたちは常に新聞記事を通して友達とお互いの考えを伝え合っていた。その中で、考えが異なる相手に自分の考えを論理的に説明する姿や、相手の話をよく聞いて納得し、新たな考えを形成する姿が見られた。また、全員で声を出して新聞記事を読み、新聞の構成の特徴や読み方について確認したことで、伝えたいことを分かりやすくまとめているという新聞のよさを改めて理解することができた。新聞記事の資料の選定方法について理解した後、自分のパンフレットの資料を探す際に、子どもたちは、自分が一番伝えたいことは何であり、どのような資料を入れると、より効果的にそれを読み手に伝えることができるのかを考えながら資料を選ぶことができた。一方、見出しや写真を当てるクイズに時間がかかり、まとめを生かして資料を選ぶ時間が5分程度しか取れなかったため、扱う写真や見出しの数については検討する必要がある。



5 成果

11月に全校児童を対象に新聞を使った活動や授業に関するアンケートを実施したところ、「新聞を使った活動や授業は楽しい」「新聞を使った活動や授業で、友達の話をよく聞いた」「新聞を使った活動や授業で、友達と協力することができた」の3項目に対して、肯定的評価をした児童の割合は86%、「前より新聞記事の内容や写真に興味をもつようになった」「新聞を使った活動や授業で、友達と話したり、自分の考えや思いを伝えたりすることができた」の2項目に肯定的評価をした児童の割合は79%であった。

このことから、多くの児童が、新聞への関心を高めており、新聞を通して友達と関わる事ができたことが分かる。NIE タイムなどで継続的に新聞に触れたことにより、児童が新聞の面白さやよさに気付くきっかけとなったと考えられる。また、児童が新聞を通してペアや班で意見を交わす場を意図的に設定したことで、友達とコミュニケーションを取りながら学ぶことができたと考えられる。

来年度は、今年度に引き続き「柔軟なコミュニケーション力の育成」を研究主題とし、児童の関わりが充実する新聞記事の提示の工夫についてまとめる。新聞の提示の工夫により、友達のことを聞きたいと思う学習課題を設定する。また、授業中の話し方・聞き方のスキルを発揮し、進んで友達の話聞く姿、自分の考えとの違いを考えながら聞く姿、自分の考えを自信をもって伝える姿、お互いの考えを認め合う姿の実現を目指す。

(中浜 愛美子)